

【話題提供】

再始動！ 防災まちづくり

～安心して暮らせるまちを、みんなの手で～

かりがね台地区の災害リスク※について

※リスク＝危険性。
「起こるかもしれない危険」
のこと。

皆さんは「災害リスク」と言われて
何を思い浮かべますか？

かりがね台地区の災害リスクについて

① 大地震での災害リスク

**大地震
発生！**

- ・ 南関東で今後30年以内にM7程度の地震の発生する確率は70%以上

**延焼火災
のリスク**

- ・ 燃えやすい木造建物が多い
- ・ 当地区は「延焼クラスター」に含まれる
- ・ シミュレーションでは約6時間で地区全体が焼失の恐れあり

**建物倒壊
のリスク**

- ・ 古い耐震基準で建てられた建物は大地震の際に倒壊の恐れあり

**避難
のリスク**

- ・ 延焼火災/建物倒壊が起きたら在宅避難は不可
- ・ 火災の発生場所によって避難先/経路が異なる
- ・ 急坂や階段が多く、避難が困難
- ・ 建物倒壊等で避難に使えない道路が出てくる危険も

かりがね台地区の災害リスクについて

② 大雨・台風での災害リスク

**大雨・台風
発生！**

- ・ 近年、水害の頻発化・激甚化が進む

**土砂災害
のリスク**

- ・ 斜面地・がけ地が多い
- ・ 土砂災害警戒区域がある

**避難
のリスク**

- ・ 急坂や階段が多く、避難が困難
- ・ がけ崩れ等で避難に使えない道路が出てくる危険も

かりがね台地区の災害リスクについて

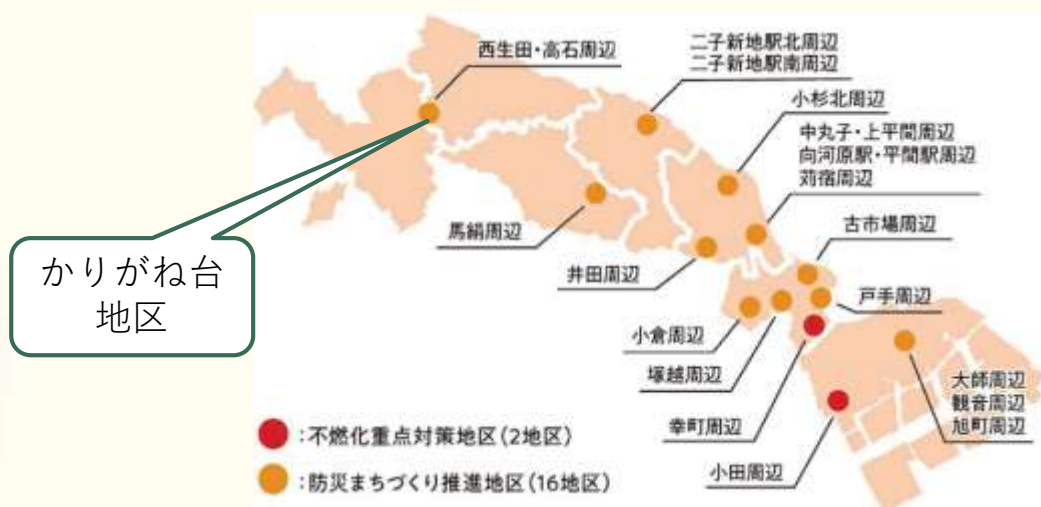
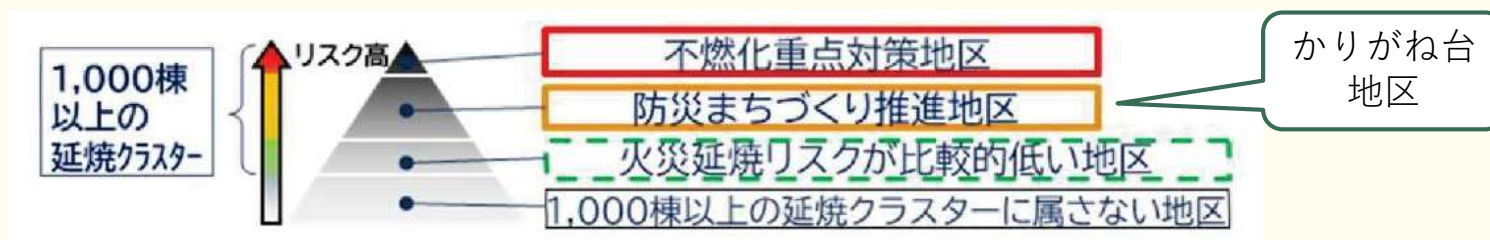
**「災害リスク」の内容は様々であり、
災害の種類に応じた対策が必要です。**

今回は、かりがね台地区が防災まちづくりの支援を受ける
きっかけとなった「**火災延焼リスク**」を主に取り上げます。

取組の背景

① 川崎市密集市街地における防災まちづくり推進計画

川崎市では、「密集市街地における防災まちづくり推進計画」に基づき、**火災延焼の危険性が高いとされる「防災まちづくり推進地区」**の町会において、地域住民主体の防災まちづくりに向けた支援を行っています。



取組の背景

② 大規模火災の事例（糸魚川市大規模火災）

2016年（平成28年）12月22日に発生。約 30時間延焼を続け、焼損棟数147棟（うち全焼120棟）、焼失面積 4 万㎡。

木造建物の密集、強風の影響による飛び火が被害拡大の原因とされています。



取組の背景

③ 再支援について

かりがね台地区では川崎市の支援のもと、令和2年（2020年）に防災まちづくりガイドブックを作成したものの、その後のコロナ禍で活動が途切れてしまっていました。今回、町会から市へのお問い合わせを受け、再支援を行うことになりました。

かりがね台地区 防災まちづくりガイドブック (2020年作成)



コロナ禍で
活動が
途切れる



再支援へ

取組の背景

④ 川崎市の地震被害想定

川崎市直下の地震（M7.3、冬18時）を想定しています。かりがね台自治会周辺では、**震度6強の揺れ**が予想されています。

また川崎市が立地する南関東では、**今後30年以内にマグニチュード7程度の地震が70%程度の確率で発生する**とされており、いつ大きな地震が起きてもおかしくない状況です。

区分	最大震度	全壊棟数	半壊棟数	出火件数	焼失棟数	死者	負傷者
多摩区	6弱※	1,395棟	5,785棟	19件	1,783棟	58人	1,463人
川崎市全体	6弱～6強	22,329棟	49,798棟	243件	16,395棟	819人	15,822人

出典：H24川崎市地震被害想定より抜粋

19件で出火
→1,783棟が焼失する！

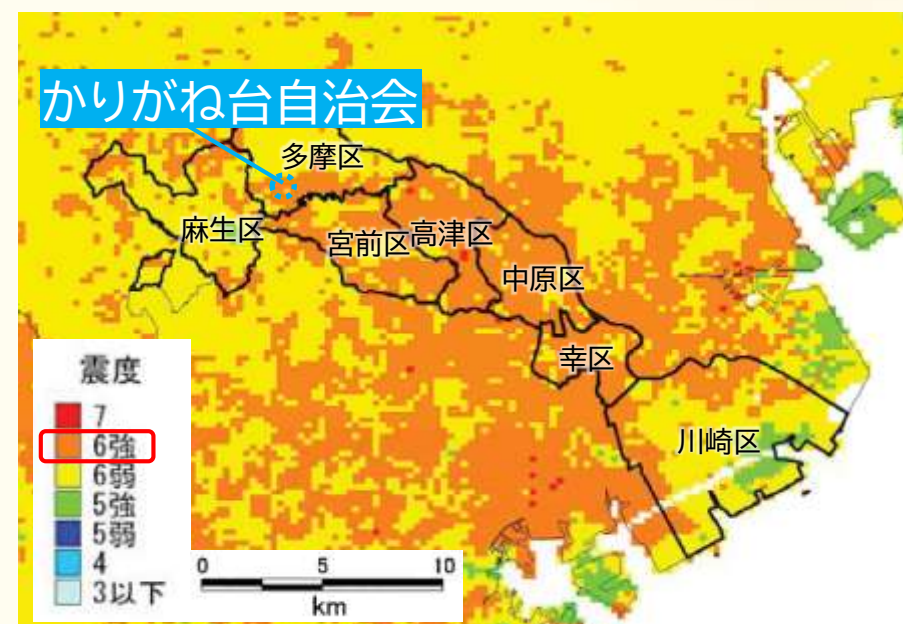
※多摩区の多くの区域では震度6弱と予想されていますが、**かりがね台自治会周辺では震度6強**と予想されています。

取組の背景

⑤ 川崎市の地震被害想定



出典：「震度と揺れの状況」（気象庁HP）より



出典：「かわさきハザードマップ」に一部加筆して作成

かりがね台地区の火災延焼リスク

① 火災延焼リスクにかかる現況 ～建物構造～

地区内のほとんどの建物が、比較的燃えやすい

木造建物となっています。

また、古い木造建物は、大地震の際の倒壊が心配されます。

なお、昭和56年(1981年)5月31日以前に建てられた住宅は、古い耐震基準で建てられていることから、特に地震に弱いと言われています。



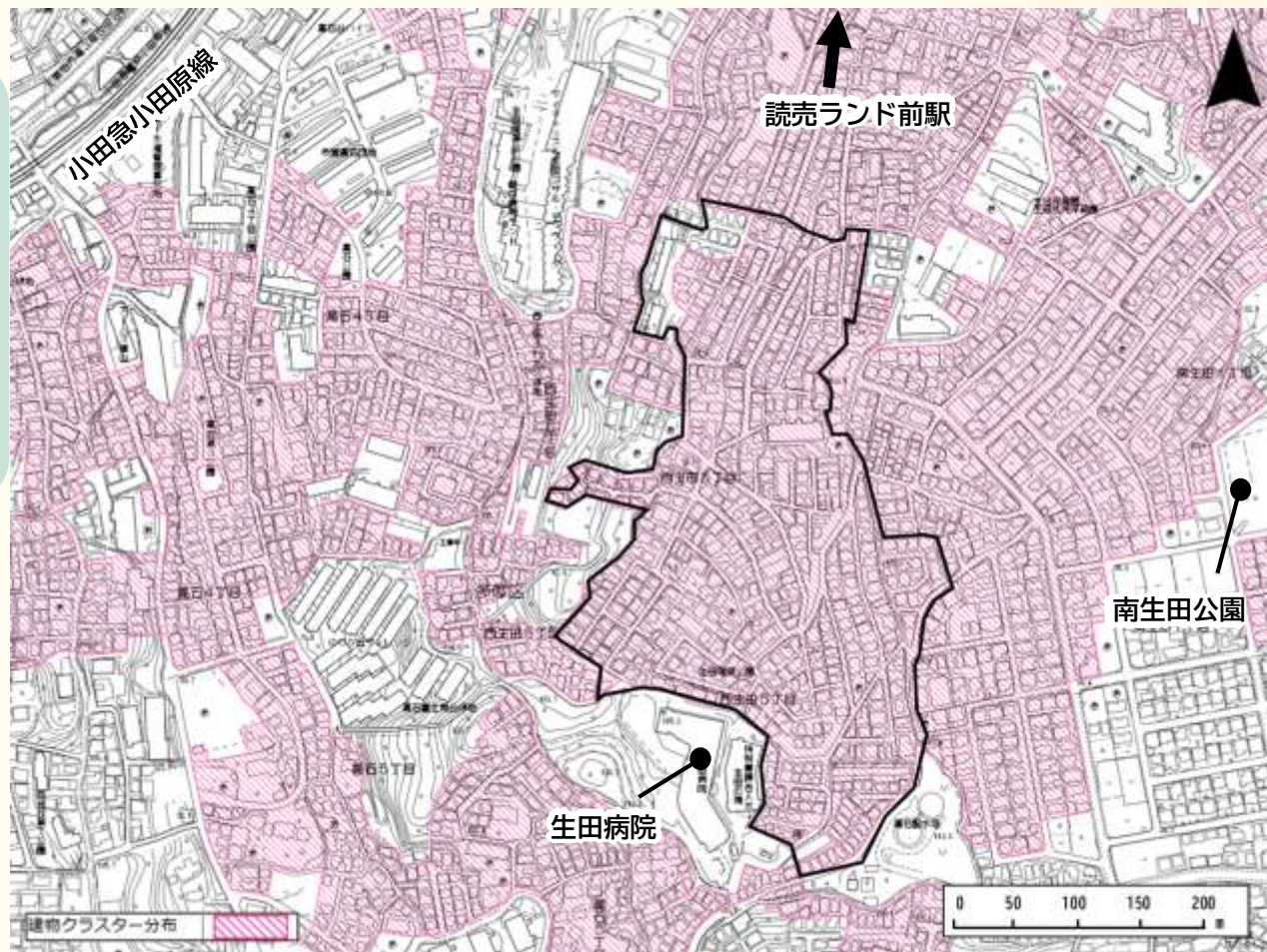
出典：「令和2年度都市計画基礎調査」を基に作成

かりがね台地区の火災延焼リスク

【リスク予測①】 延焼クラスター

かりがね台地区を含む西生田・高石周辺地区は、木造住宅が密集しているため、火災が広範囲に延焼するリスクが高い「延焼クラスター」に含まれています。

- 延焼クラスター…地震に伴う火災が、消防活動が全く行われずに放置された場合に延焼が広がる可能性の範囲のこと。



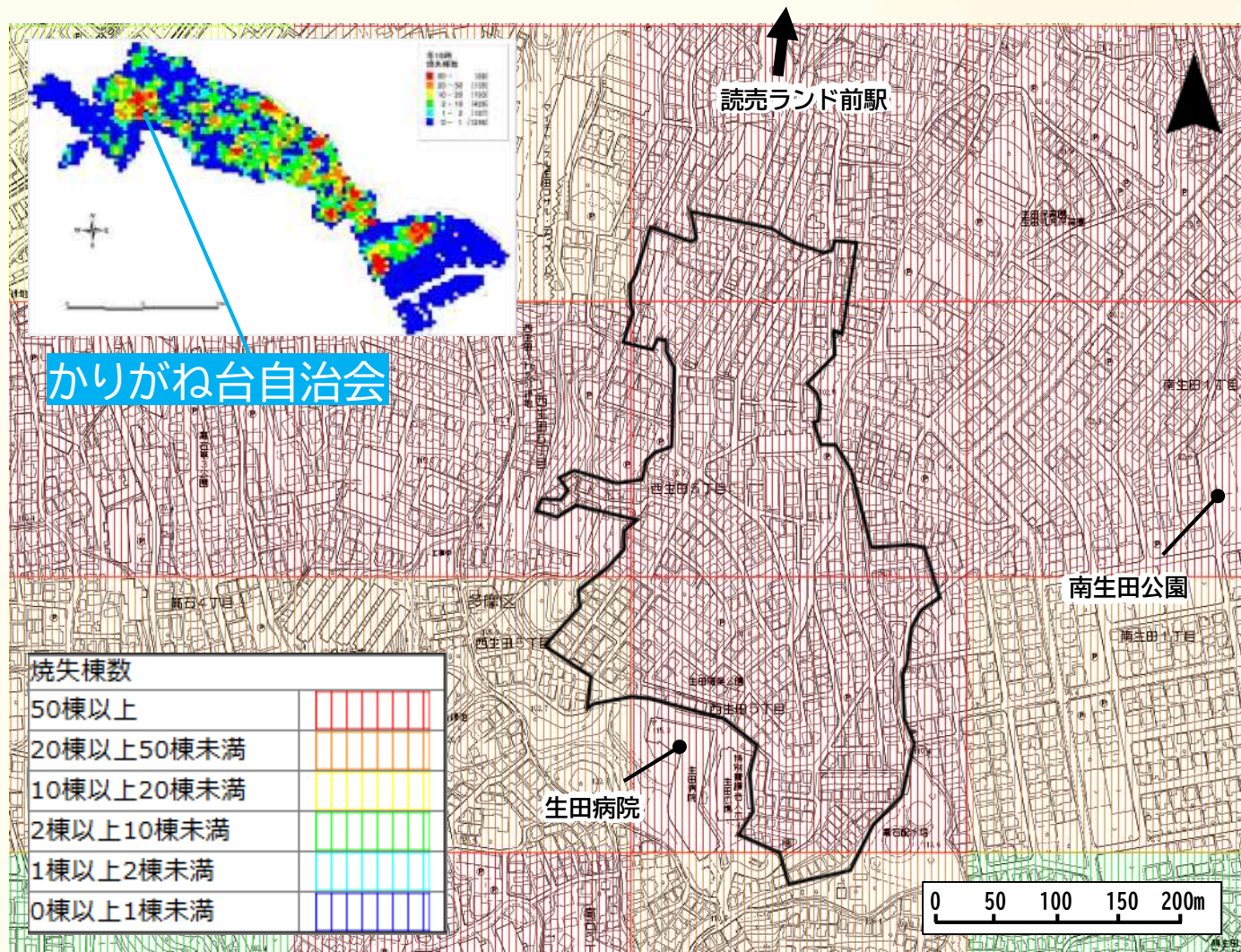
かりがね台地区の火災延焼リスク

【リスク予測②】 地震被害想定・焼失棟数

かりがね台地区は、被害想定において特に多くの焼失が予測されている区域にあります。

- 焼失棟数…川崎市直下地震が発生した場合の被害予測。最も大きな被害が予想される、冬18時（風向＝北、風速5.8 m/s）における250mメッシュごとの火災による焼失棟数。出典：川崎市地震被害想定調査報告書（平成21年）

出典：「ガイドマップかわさき」より

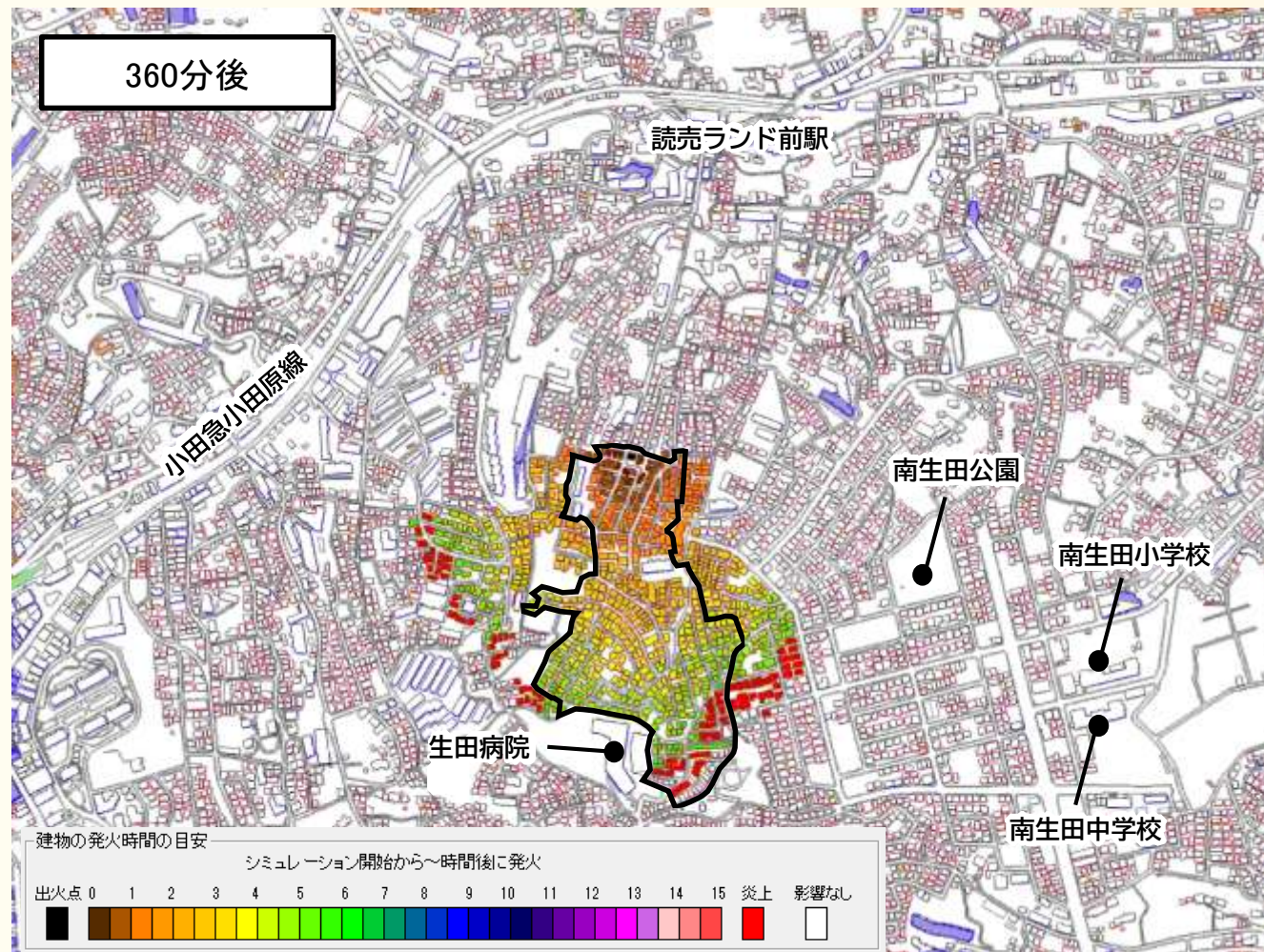


かりがね台地区の火災延焼リスク

【リスク予想③】 延焼シミュレーション

消防活動が全く行われない場合、約6時間で地区全体が焼失する結果となっています。

- 愛媛大学防災情報研究センターによる火災延焼シミュレータを使用
- 北の風・風速 6 m/sを想定



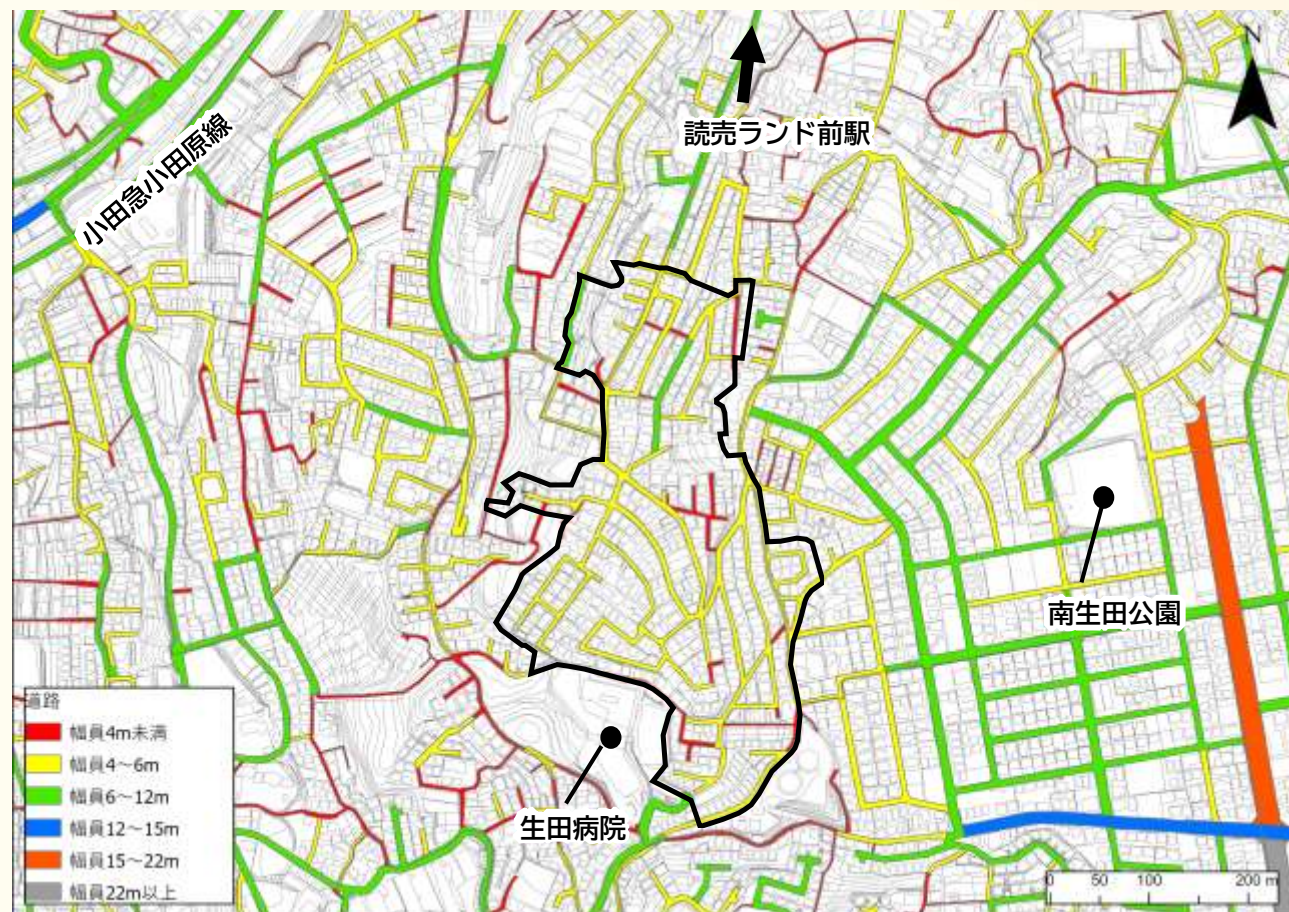
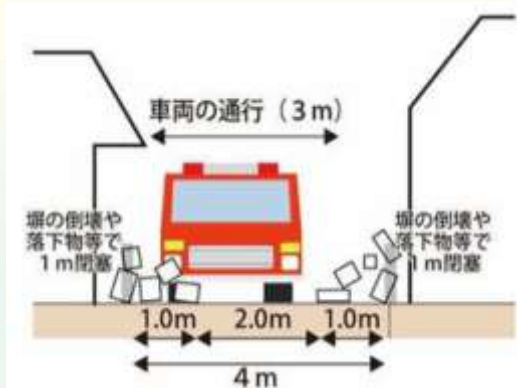
かりがね台地区の火災延焼リスク

② 火災延焼リスクにかかる現況 ～道路～

地区内の道路は、ほとんどが6 m未満となっています。

避難や消防活動・緊急車両の進入のためには十分とは言えません。

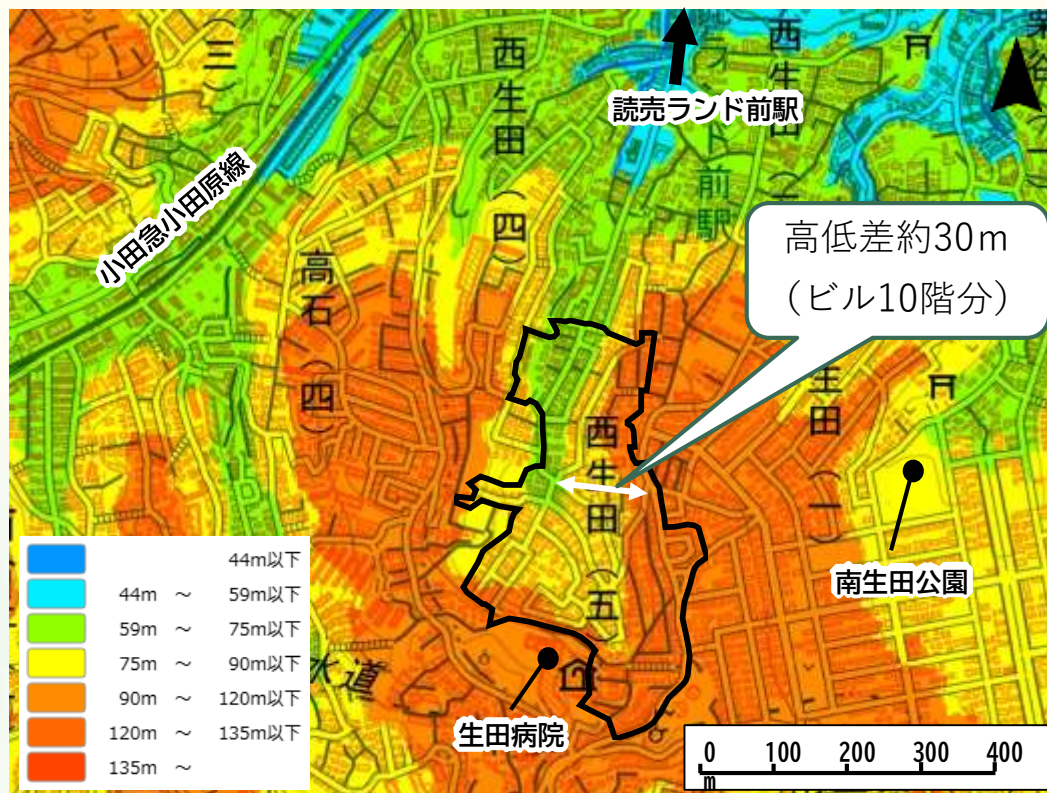
◆震災時における幅員4 m道路のイメージ



かりがね台地区の火災延焼リスク

④ 火災延焼リスクにかかる現況 ～地形～

急坂や斜面が多く、すり鉢状の地形になっています。
のり面（壁状の崖）も多くみられ、土砂災害の危険性もあります。



かりがね台地区の火災延焼リスク

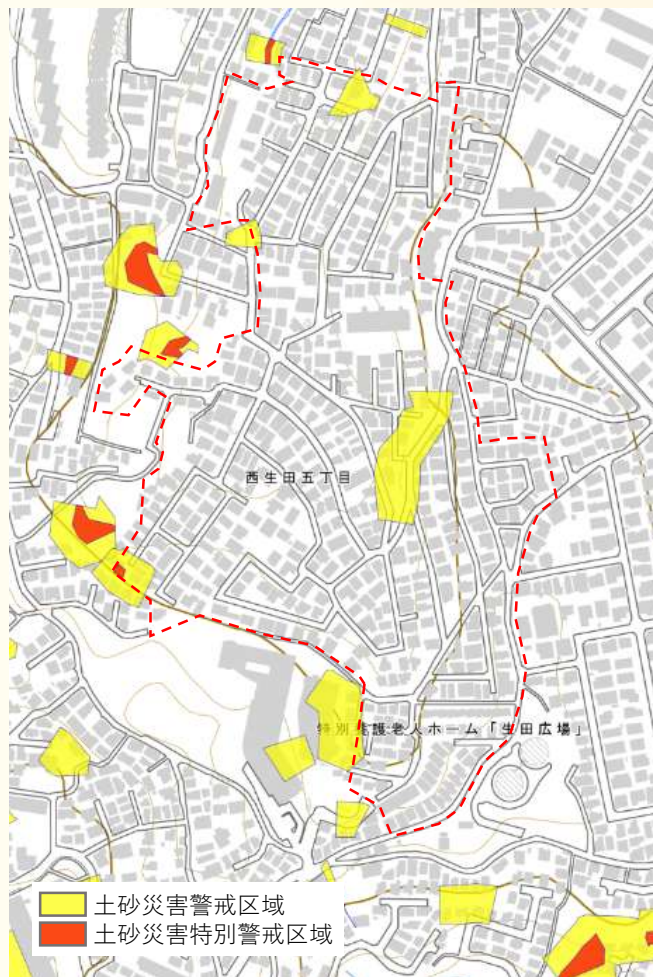
⑤ 火災延焼リスクにかかる現況 ～土砂災害警戒区域～

また、斜面の一部が急傾斜地の崩壊の際に被害の恐れがある「土砂災害警戒区域」に指定されています。

●土砂災害警戒区域…急傾斜地の崩壊等が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域。「土砂災害特別警戒区域」はさらに危険性の高い区域を指す。



出典：「熊本地震アーカイブス」より



地域ぐるみでの対策の必要性について

① 住宅火災を防ぐ6つの対策

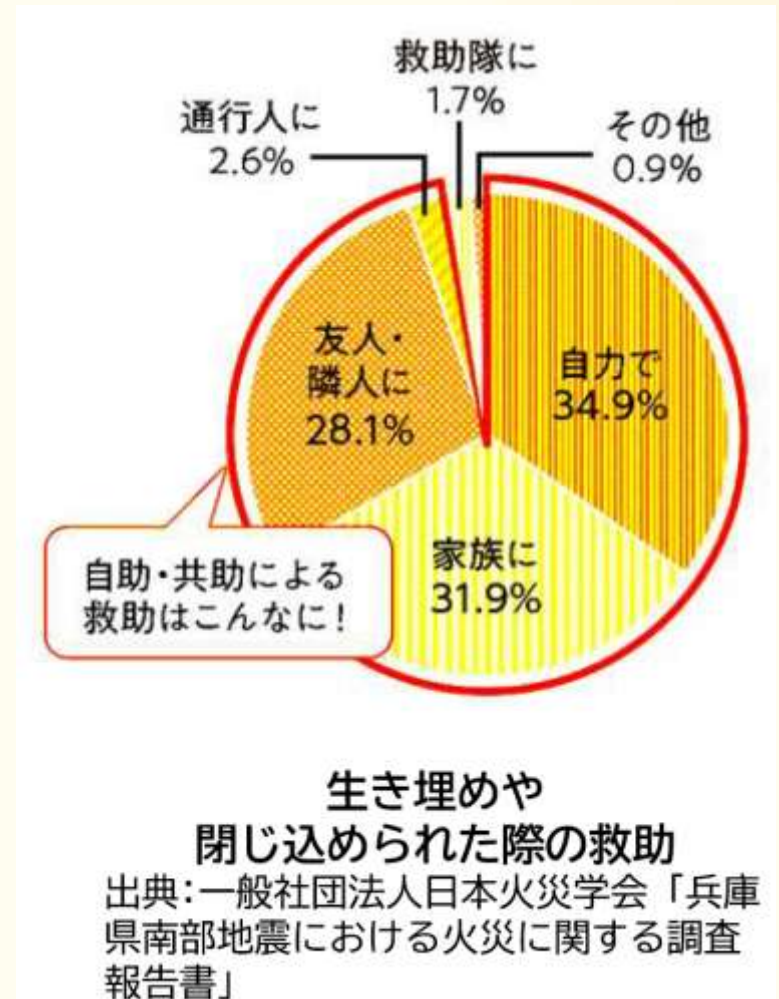


地域ぐるみでの対策の必要性について

② 災害時における自助・共助の重要性

大規模災害が発生した際、特に発生直後において、公的機関が担う公助には限界があります。

被害を抑えるためには、平時から「**自助・共助により地域防災力を高める**」＝「地域住民主体の防災まちづくり」に取り組むことが重要です。



地域ぐるみでの対策の必要性について

③ これまでの災害での共助の活動例

a. 石川県能登町・鵜川地区

- コミュニティ内で助け合って生き埋めになった住民を救出
 - 能登半島地震の際には、地震によって数多くの家屋が倒壊し、生き埋めになった住民もでした。
 - しかし、迅速に全員の安否確認を行い、がれきに埋まってしまった住民については、コミュニティの住民同士で助け合いながら、救出しました。
 - そのため、鵜川地区では地震による家屋の倒壊はあったものの、全員が助かったのです。いざという時に、住民が結束して対応した共助の成果です。

b. 大分市・佐賀関の大火（R7.11.18）

- さまざまな主体の連携により被害を最小限に
 - 街区及び林野等約4.76haが焼損し、死者1名、負傷者1名196棟が被災。
 - 住民の避難は、住民間の自主的な声掛けや消防・警察の誘導、関係者による安否確認やデイサービス事業者による要支援者の車両輸送等により迅速に行われた。
 - 背景には、日頃の交流や定期的な避難訓練、要支援者名簿の共有など、平時からの地域防災の取組があった。

■南海トラフ地震・津波を想定した避難訓練の様子



■火災当日にデイサービス事業者が使用した車両



出典：「ぼうさいNo.110」（内閣府、令和6年7月8日、p8）より

出典：「大分市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会報告書」（R8.3、同検討会）より

【参考】

① 自助のためのツール例

備える。かわさき

市民が無理なく防災・減災に取り組めるためのノウハウをまとめた総合的な防災啓発冊子。印刷物のほか、Web版も公開しています。



←冊子版

↓ Web版



かわさき防災アプリ

防災無線放送内容や、緊急情報の各種災害情報をリアルタイムに受信できるほか、防災に関する様々な情報を得ることができます。



←アプリトップページ

↓ アプリダウンロード



iPhone



Android

【参考】

② 公助 ～防災関連の市等の支援例～

住宅の耐震化

木造住宅診断士 派遣制度

一定の条件を満たす木造住宅について、耐震診断を行う**診断士**を無料で派遣

木造住宅耐震改修 助成制度

一定の条件を満たす木造住宅で、耐震性が低いものについて、耐震改修にかかった費用の一部を助成

建築相談員 無料派遣制度

市の制度で耐震診断を行った木造住宅に対する**耐震改修工事**などの悩みを伺い、解決に向けて助言

住宅の一部を耐震化

耐震シェルター ・防災ベッド助成制度

耐震シェルターの設置にかかった費用のうち、最大30万円を助成
防災ベッドの設置にかかった費用のうち、最大10万円を助成

耐震シェルター

住宅の一部屋にフレーム等を設置することで、安全な空間を作ります。



危険なブロック塀を撤去

ブロック塀等 撤去促進助成金

倒壊の危険のある**自宅等**の塀を撤去する場合、費用の一部を助成

がけ地の安全確保

急傾斜地崩壊対策事業 (神奈川県事業)

一定の基準を満たすがけ地について、崩壊を防ぐための工事を実施

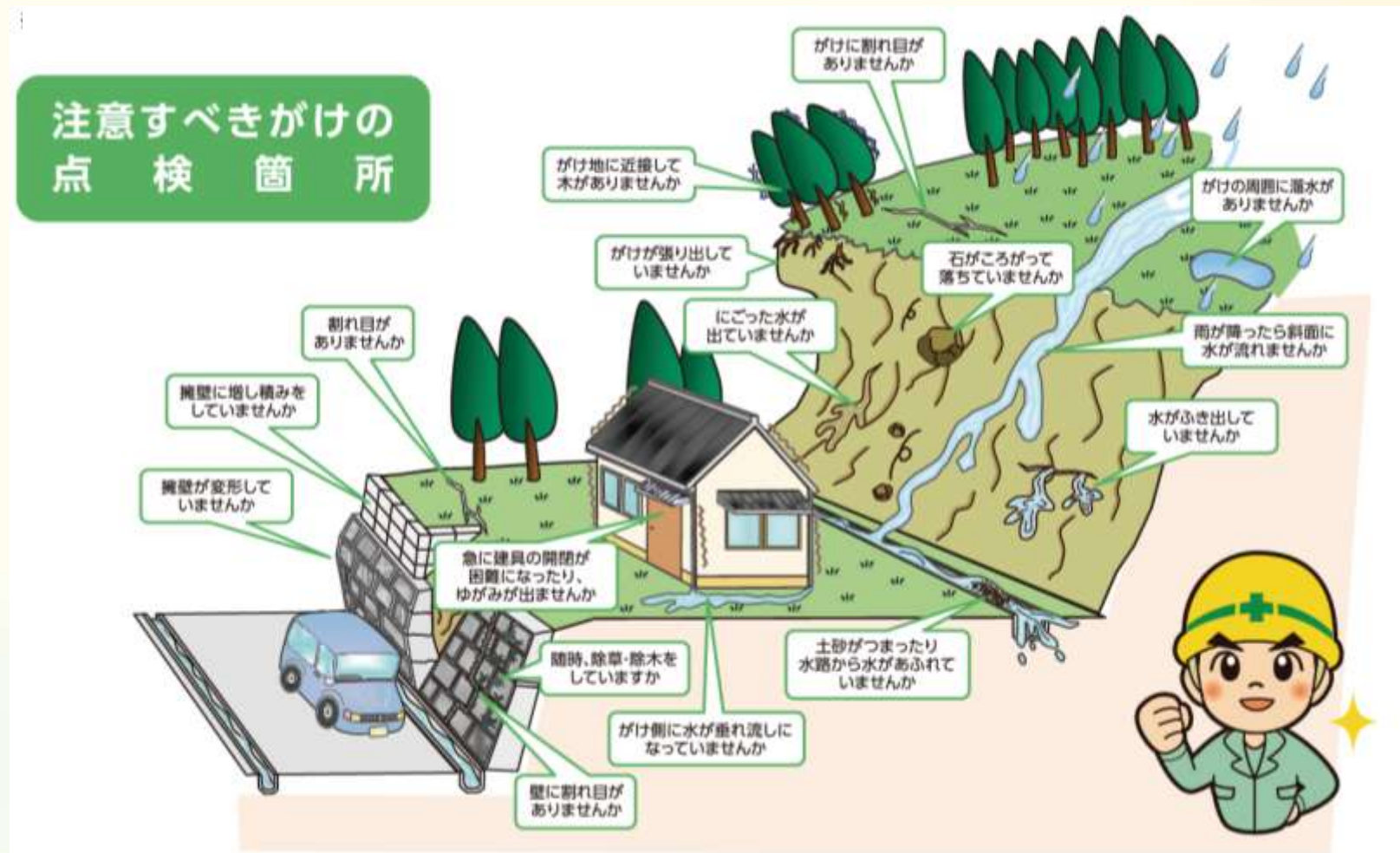


宅地防災工事助成金制度 (川崎市事業)

がけ崩れの防止や復旧などの「**宅地防災工事**」、がけの補修・補強または排水施設の整備などの「**宅地減災工事**」に対し、工事費の一部を助成します。

【参考】

③ 注意すべきがけの点検箇所



【参考】

④ 災害時の避難について（地震）

大地震発生

● ● ●
家屋の倒壊や火災により自宅では生活できない
近隣の火災が拡大するなど危険な状況
避難情報の発令があった

避難開始

いっとき
一時避難場所
(近くの公園や空き地、防災農地など)
安全確保のために
一時的に避難する場所



広域避難場所
(大きな公園・緑地など)
大火災など広域的な被害から
避難する場所



自宅で生活できないとき

避難所が危険になったとき

指定避難所
(近くの市立小・中・高等学校など)
自宅を失った被災者が
一時的に生活する場所



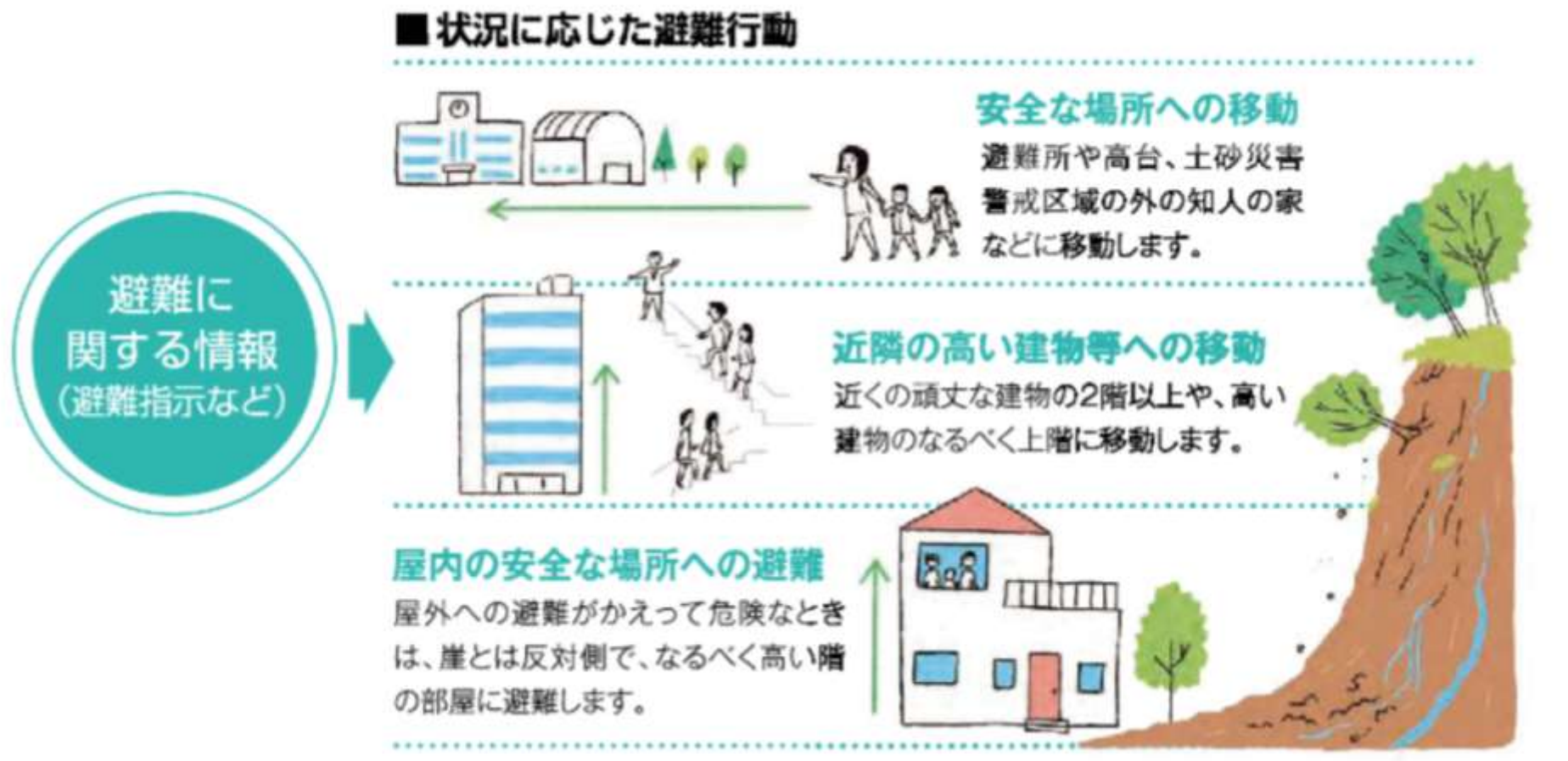
イラスト: いちひろゆき

自宅へ

● ●
危険がなくなったとき
避難する必要がなくなったとき

【参考】

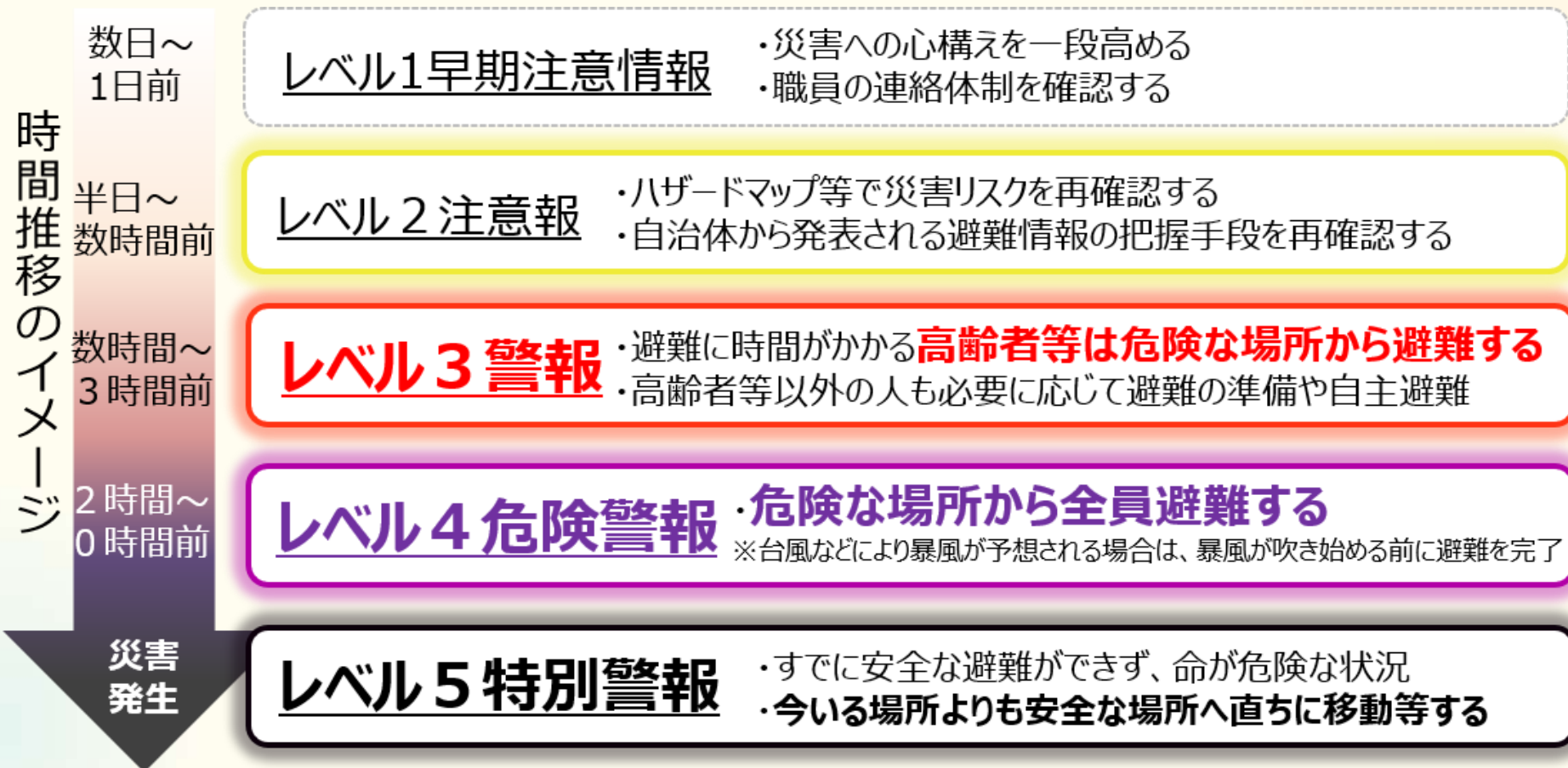
⑤ 災害時の避難について（風水害）



出典：「備える。かわさき 風水害対策編」より

【参考】

⑥ 防災気象情報について（気象庁HP）





防災 クエスチョン

～まちの防災のこと、知っていますか？～

防災クエスチョン

- これから、かりがね台地区の防災に関する質問を9つ出題します。
- 「知っている」「知らない」等を選んで挙げてください。 ※気軽にどうぞ！
- この結果は、これからの活動に活かしていきます。

防災クエスチョン

①かりがね台自治会は
火災の延焼リスクが高い
ことを知っていましたか？

(スライド11~14を参照)

a. 知っている

b. 知らない

防災クエスチョン

②近所（または自宅）で火災が発生した際に、安全に通行できる避難路は複数ありますか？

（スライド15、16を参照）

a. ある

b. ない

防災クエスチョン

③かりがね台地区の一部に、
土砂災害警戒区域があることを
知っていましたか？

(スライド18を参照)

a. 知っている

b. 知らない

防災クエスチョン

④自治会で定めている

4つの一時避難集合場所
を知っていますか？

a. 知っている

b. 知らない

防災クエスチョン

⑤大震災が起きた場合、
すぐに一時避難集合場所に行くべきだと思いますか？

a. そう思う

b. そう思わない

防災クエスチョン

⑥感震ブレーカーを
知っていますか？

a. 知っている

b. 知らない

防災クエスチョン

⑦自治会では、消火ホースキットを所有しています。
いざというとき、消火ホースキットを使うことができますか？

a. できる

b. できない



消火ホースキット

防災クエスチョン

⑧安否確認に使う「黄色い
タオル」は、分かりやすい
場所に保管していますか？

a. している

b. していない

防災クエスチョン

⑨災害発生時に、かりがね
台に関する情報を得る手段
はありますか？

a. ある

b. ない

防災クエスチョン

- ①かりがね台自治会は火災の延焼リスクが高いことを知っていましたか？
- ②近所（または自宅）で火災が発生した際に、安全に通行できる避難路は複数ありますか？
- ③かりがね台地区の一部に、土砂災害警戒区域があることを知っていましたか？
- ④自治会で定めている4つの一時避難集合場所を知っていますか？
- ⑤大震災が起きた場合、すぐに一時避難集合場所に行くべきだと思いますか？
- ⑥感震ブレーカーを知っていますか？
- ⑦自治会では、消火ホースキットを所有しています。いざというとき、消火ホースキットを使うことができますか？
- ⑧安否確認に使う「黄色いタオル」は、分かりやすい場所に保管していますか？
- ⑨災害発生時に、かりがね台に関する情報を得る手段はありますか？

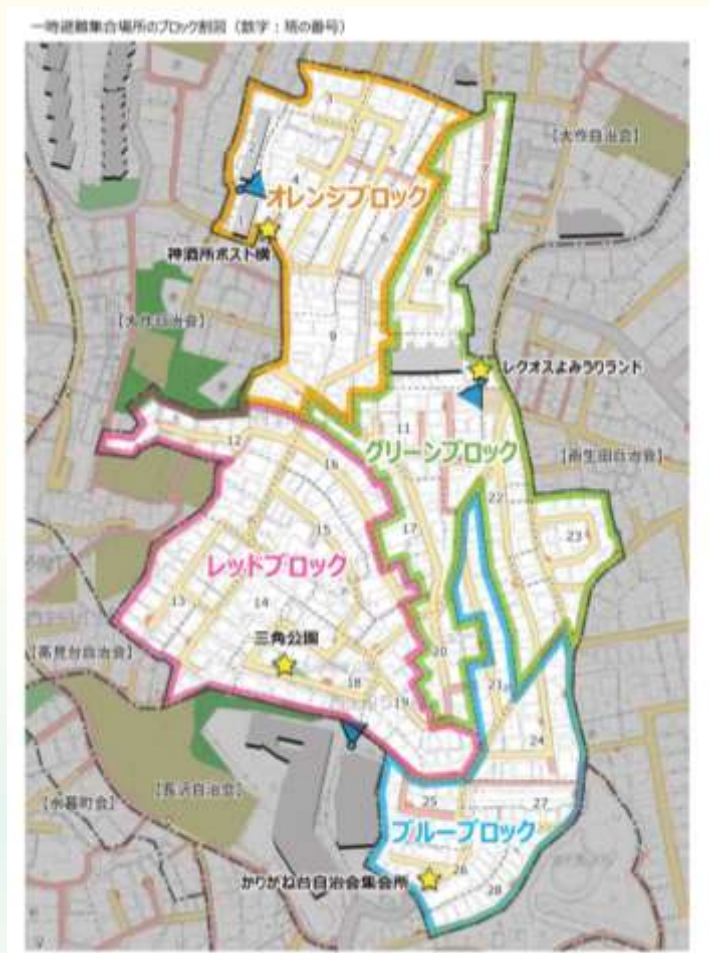
皆さんの災害リスクに対する認識や、不安に感じていることをお互いに共有しよう！

今後、自治会として防災まちづくりを考えていくうえでの参考にしよう！

④～⑨の解説は次スライドから

防災クエスチョン（解説）

④自治会で定めている4つの一時避難集合場所を知っていますか？



※かりがね台地区防災まちづくりガイドブックより

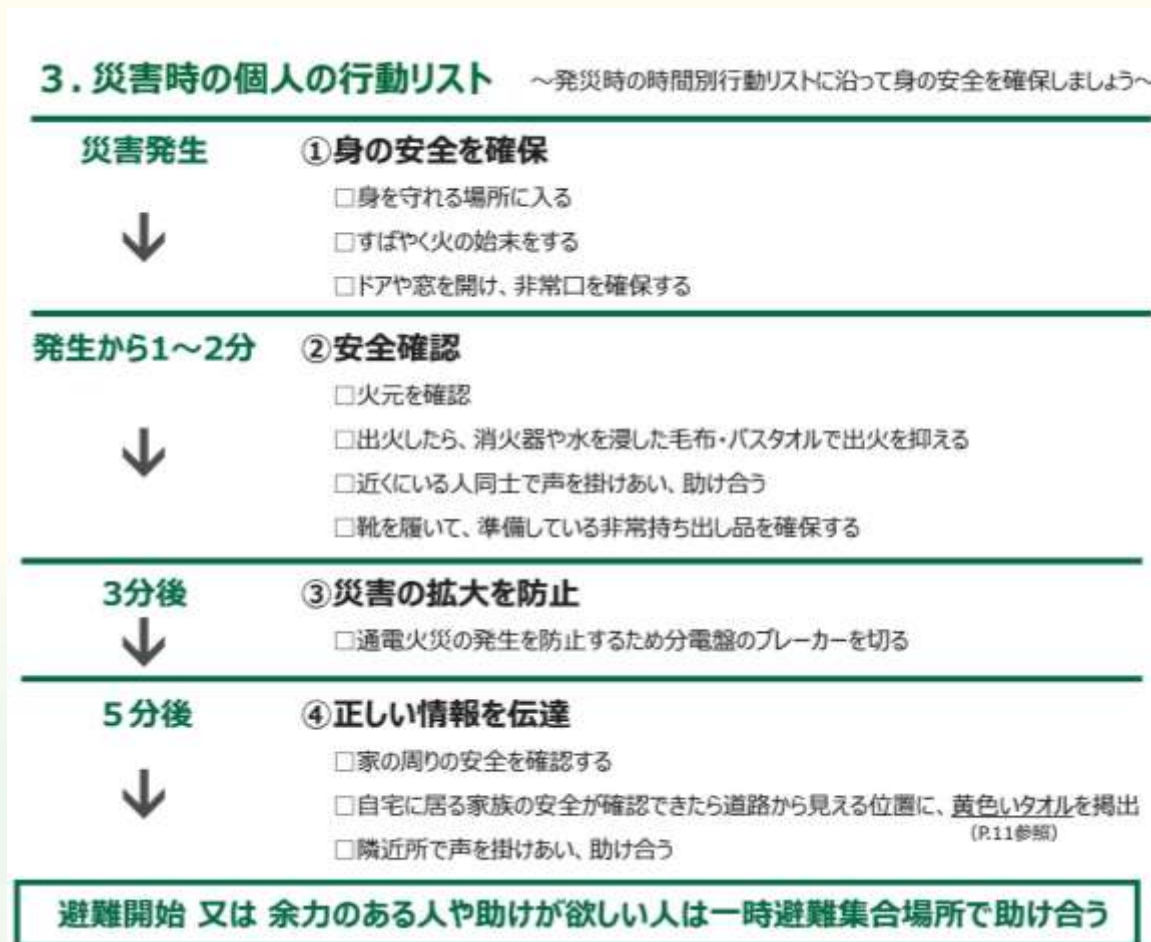
かりがね台自治会では、以下の4つの一時避難集合場所が定められています。

- ・ 神酒所（みきしょ）ポスト横（オレンジ）
- ・ レクオスよみうりランド（グリーン）
- ・ 三角公園（レッド）
- ・ かりがね台自治会集会所（ブルー）

一時避難集合場所までの行き方はあらかじめ確認しましょう！

防災クエスチョン（解説）

⑤大震災が起きた場合、すぐに一時避難集合場所に行くべきだと思いますか？



まずはご自身の安全確保、ご近所どうしの安全確認が大事です！

一時避難集合場所は必ず行かなければいけないわけではございません。

発災の状況により、ご自身で避難行動を判断できるように備えましょう！

防災クエスチョン（解説）

⑥感震ブレーカーを知っていますか？

地震時等の電気火災を予防できる 感震ブレーカーをつけましょう!

大きな地震のあとには、電気に起因した火災が多く発生しています

地震による火災原因の多くは電気が原因

火災原因の割合: 電気 54%, その他 46%

対策は感震ブレーカーで

「感震ブレーカー等」は、震度5強相当以上の揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

地震発生時の揺れにより、電線が断線したり、コンセントから火花が飛び出したり、火災が発生したりすることがあります。感震ブレーカー等により、地震発生時に電気を自動的に遮断することで、火災の発生を予防することができます。

感震ブレーカー等の電気遮断範囲

家中の電気を一括遮断	接続した機器のみを遮断
分電盤タイプ 「内蔵センサー」で遮断 感震ブレーカーが内蔵されたもの、外付けされたもの	機器タイプ 「おとり落下」で遮断 「バネ作動」で遮断 コンセントタイプ 「内蔵センサー」で遮断 「内蔵センサー」で遮断

感震ブレーカー等の設置を推進するためのルール整備が進んでいます

感震ブレーカー等は、地震発生時に電気を自動的に遮断することで、火災の発生を予防することができます。また、感震ブレーカー等の設置を推進するためのルール整備が進んでいます。

地震による火災原因の多くは電気が原因と言われています。

電気火災を防ぐためには、感震ブレーカーの設置が有効です！

感震ブレーカーとは…震度5強相当以上の揺れを感知した際にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

防災クエスチョン（解説）

⑦自治会では、消火ホースキットを所有しています。いざというとき、消火ホースキットを使うことができますか？



●消火ホースキットとは

消火栓に直接接続して初期消火を行うための資器材を台車に積載した移動可能な消火器具です。

収納されている直径40mmの消火ホースや筒先は、消防隊が使用しているものよりも細くて軽く、操作も簡単です。

現在、市内176箇所の全避難所への配備が完了しています。



自治会でも所有しているので、今後使える人を増やしていくことが大事です！

●消火ホースキットの資器材



収納時



収納資器材一覧

- ・収納箱サイズ : 高さ1200mm×幅500mm×奥行330mm
- ・収納資器材 : 40mmホース×4本、筒先、媒介、消火栓開閉器具



消火ホースキット取扱い方法動画
川崎市公式YouTubeより

防災クエスチョン（解説）

⑧安否確認に使う「黄色いタオル」は、分かりやすい場所に保管していますか？



黄色いタオルが安否確認をスピードアップします
迅速な安否確認で、助かる命を救いましょう！

ドンドン

目印がないと・・・
応答があるまで無事かどうか分かりません

我が家は無事です！ 無事です！

黄色いタオルがあると・・・
ピンポンを押さなくても道路から一目で無事とわかります

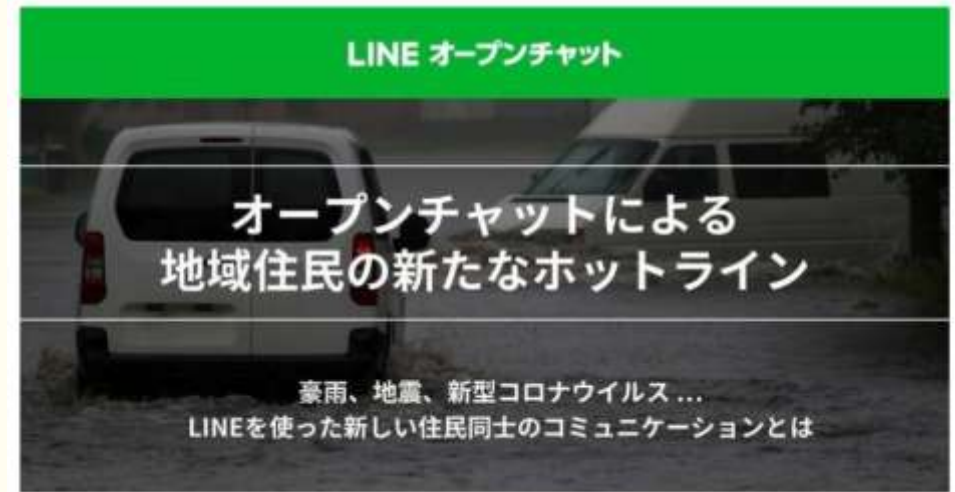
※かりがね台地区防災まちづくりガイドブックより

自治会では、黄色いタオルを配布して、災害時の安否確認で活用することを推奨しています。

安否確認のスピードアップのためには、皆さんで協力して取り組むことが大事です！

防災クエスチョン（解説）

⑨災害発生時に、かりがね台に関する情報を得る手段はありますか？



※LINEオープンチャット公式サイトより

「備える。かわさき」「かわさき防災アプリ」などを上手く活用しましょう！
また、LINEのオープンチャットを活用して情報交換している例もあります。

An aerial photograph of a residential neighborhood in Japan. The foreground shows several houses with dark grey and red tiled roofs. In the background, more houses are visible on a slight incline under a clear blue sky. A large white oval is superimposed in the center of the image, containing the text 'これからの予定' in orange.

これからの予定

再始動！これからの予定

2年目

できることから
少しずつ始める

- 1年目に考えた取組み案に沿ってプロジェクトを実施
- 防災まちづくりガイドブック見直し①

その後

まちのみんなで
持続可能な
取組へ

1年目

地域の資源や課題を
見つけて、
情報を発信する

- 防災キックオフ会議
- アンケート
- まち歩き
- 防災意見交換会

3年目

活動の継続に向けて
取り組む

- プロジェクトのブラッシュアップ
- 防災まちづくりガイドブック見直し②
→確定